



地域とともに

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町1番地

HPのQRコード→

Tel 01558-6-2063、6-2868

ホームページ <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

【令和5年度の指導上の重点目標】

- 1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。
- 2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

2学年台湾見学旅行報告会を実施しました

11月17日(金)、5,6時間目に「2学年見学旅行報告会」を実施しました。

台湾見学旅行での取り組みについて、各班で資料を作成し、本校体育館で報告を行いました。

「台湾に行くことができてよかった」、「海外を知ることで、普段当たり前だと思っている日本のよさを改めて実感した」、「大学生と言葉の壁を越えてたくさん交流できた」など、海外研修を経験して感じ取ったことを、生き生きと発表してくれました。

4月当初は、「海外に行くのは怖い・・・」という声もありましたが、見学旅行までにさまざまな教科を通じて事前学習として台湾について学び、自分たちの行く場所に対して真剣に調べ、学習を進めることで、少しずつクラスのまとまりを深めながら見学旅行へと気持ちを高めていくことができました。

見学旅行実施にあたり御協力をいただいたすべての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。



北海道大学建築学部の学生が来校しました

11月20日(月)15:30、北海道大学建築学部の学生が本校に来校しました。来校した学生の所属する研究室は松島准教授のスタッフと学生15名が来ました。目的は、大樹高校生から高校生の現状や意見を聞くことでした。右の一般社団法人たいきまちづくりラボ(以下、まちづくりラボ)が作成したリーフレットで参加生徒を募集したところ、3年生は2名、1年生は2名、合計5名が本校から参加しました。

今回の北海道大学生の来校のきっかけは、3年生が実施した地域探究活動の発表会での3つの班のテーマ「大樹町の高校生の居場所づくり」が新聞報道されたことです。このことを大学生が真摯に受け止め、「高校生の居場所」を設計したとのことでした。

北海道大学建築学部と結び付けたのは、たいきまちづくりラボです。彼らは大樹町の空き家改修に取り組んでおり、本校来校前に、大樹町に出向き、模型と図面などを示したボード複数枚でプレゼンテーションをしてきたそうです。現在、大樹町の町づくりに役立てるために1つの空き家の改修だけではなく、町づくりに役立つ発想とするために大樹町の課題を把握して、その解決策を提案していました。

